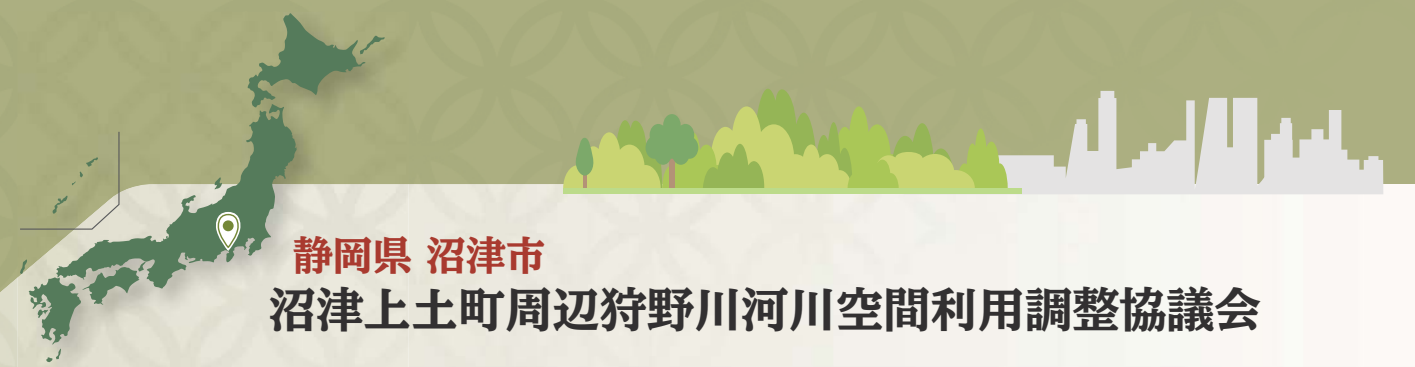


# かのがわ風のテラス



## 1 社会資本の概要

「かのがわ風のテラス」は、沼津市市街地を流れる一級河川狩野川の右岸上土町周辺に位置しています。中心商店街の通行量減少等の課題をもつ沼津市において、平成23年の河川許可準則改正による規制緩和を機に、人が集う賑わいの場を提供しようと水辺空間の活用方法の検討が始まりました。平

成26年には地元商店街・市・河川管理者などからなる協議会を設立し、狩野川の水辺空間の活用を図る取り組みを進めた結果、年間3.8万人が四季折々の風を感じながらオープンカフェやバーベキュー、パフォーマーによる水辺のステージ、地元イベント等を楽しむことが出来る空間となりました。



かのがわ風のテラス (静岡県沼津市)



水辺のオープンカフェ

## 2 取組の背景、取組概要と創意・工夫

狩野川を生かして沼津のまちをもっと楽しく、魅力や活力向上につなげていこうと、地域住民と行政が一緒になって平成25年度に「沼津あげつち周辺狩野川活用研究会」を結成しました。初年度には狩野川右岸の階段堤を利用した水辺のオープンカフェや水辺のステージ、水辺のバーベキューなどを実験的に開催し、研究会の成果として、狩野川の魅力とその素晴らしいロケーションを活かしたお洒落な空間の演出が利用コンセプトとされ、愛称として「か

のがわ風のテラス」が提案されました。平成26年には研究会での実験結果をふまえて「沼津上土町周辺狩野川河川空間利用調整協議会」を設立しました。誰もが利用しやすい狩野川にするための取組を提案しながら、水辺空間のオープン利用を本格的にスタートしました。現在、「かのがわ風のテラス」を新たな憩いの場・賑わいの場として活用し、カーネーション大会の開催など市内外の団体とも連携しています。



水辺のステージ



水辺のバーベキュー



カーネーション大会

## 3 活動の成果や波及効果等

地域による水辺の空間の活用から始まった「かのがわ風のテラス」の活動は、最近では地元有志団体等がフェスタなどのイベントで利用するようになり、水辺の空間利用が地域住民・企業・行政ともに広く知られるようになりました。さらに波及効果として、水辺の空間の利用が認知されてきたことにより、フィルムコミッションの分野でも、ドラマやバラエティ番組等で数多く使われています。

今後も、日常的な河川空間の利用促進と河川に面した店舗などを増やしていくため、利用しやすい環境づくりを進め、まちなかと河川空間が一体となった取り組みを進めていきます。



THIS IS NUMAZU 沼津自慢フェスタ 2017



沼津夏まつり 花火大会

**所在地**  
静岡県沼津市上土町

**活動主体及び連絡先**  
沼津上土町周辺狩野川河川空間利用調整協議会  
(055-934-4748 事務局 沼津市役所商工振興課)

**対象となる社会資本**  
かのがわ風のテラス  
※管理者：沼津市



## 喜びの声



### 受賞者

沼津上土町周辺狩野川河川空間利用調整協議会 委員 小松 浩二

### コメント

この度は、かのがわ風のテラスの取り組みが評価され、大変うれしく思います。

沼津市の中心部を流れる狩野川は、まちの貴重な資源であり、人が集まる可能性のある魅力的な空間です。

これからもこの空間の価値を高めていき、日常的に人が集まるエリアにしていきたいです。

### 活動内容

かのがわ風のテラスの運営・維持管理、オープンカフェ、水辺のステージ、BBQ、地元イベント等の利用調整など

### 活動の経緯

- 平成25年 沼津あげつち周辺狩野川活用研究会を結成 様々な社会実験を通して検討
- 平成26年 沼津上土町周辺狩野川河川空間利用調整協議会設立
- 平成29年 イベント利用者向け備品の貸し出し開始

手づくり郷土賞

グランプリ 2017

講評

大賞部門

一般部門

資料編

手づくり郷土賞

グランプリ 2017

講評

大賞部門

一般部門

資料編